

千葉動力労働者

国鉄千葉動力車労働組合

〒280 千葉市要町2番8号(動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 千葉 (22) 7207 番

動労千葉結成10周年!

89.11.17 No3114

貨物職場の最先頭人 新小岩支部定期大会がちる

盛りあがった定期大会

新小岩支部は、十一月十四日、第十二回定期大会を開催し、闘う方針を決定し、新たな執行体制を確立した。

大会には五〇名をこえる組合員が出席し、約五時間にわたって真剣に大会に集中し、熱のこもった討論が展開された。

大会は国分氏の開会のあいさつではじまり、高橋(忠)氏を議長に選出、高橋氏は「事業団闘争をはじめ当面の諸闘争を闘いぬこう」と訴えられ、全体のムードも大いに盛りあがる中、関支部長が組合員の奮闘に敬意を表した後、「事業団の仲間の気持に立って闘おう、当面の秋から冬の闘いを貫徹しよう」と決意に満ちたあいさつが述べられた。

「葛飾区労働者連帯闘う」

続いて、来賓として忙しい中、葛飾区労働者の藤氏が駆けつけてくださり、連帯のあいさつを受

けた。斉藤氏は、「労働戦線は激動の中にあるが、われわれは独自の闘いを継続する。清算事業団闘争を区労働者としてたたかう」と訴えられ、満場の拍手をうける。また、本部から中野委員長と田中書記長が来賓で出席し、清算事業団闘争への決意と当面の闘争課題、九〇年代の展望等、全般にわたり、わかりやすく提起され、全体のボルテージも大いにあがった。

磯辺氏(事業団)を

奪還しよう

経過、方針の提起をうけて一時間以上にわたり七人からの発言をうけて討論した。

なかでも、「磯辺さんを必ず奪還しよう」「職場は明るくなっている。再度、裏切り者を糾弾すべきだ」「闘いに金が必要なら集めなければ、スト基金は二千万でたまるのか」など、積極的意見が特長であり、青年部からは、「あらゆる闘いをその先頭で牽引する」という決意表明も行われ、大成功のうちに終了した。

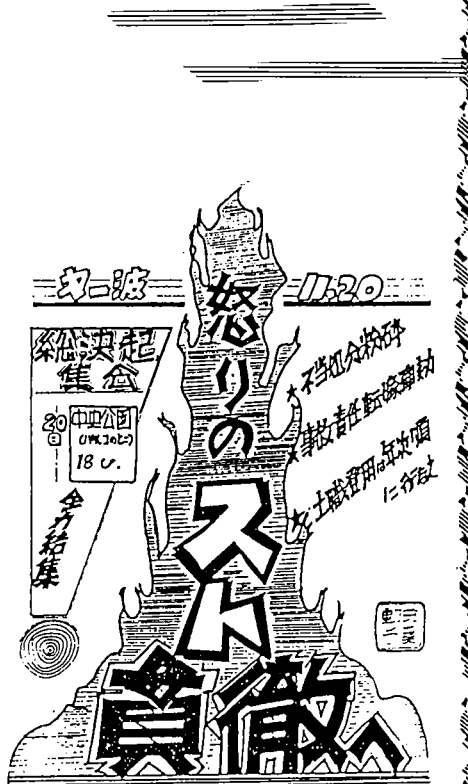
一九八九年度新役員

- | | | | |
|------|----|----|-------|
| 支部長 | 関 | 豊 | 主任運転士 |
| 副支部長 | 的場 | 正和 | 運転士 |
| 書記長 | 君塚 | 正治 | 運転士 |
| 書記次長 | 川田 | 伸夫 | 車両係 |
| 執行委員 | 若林 | 寛 | 主任運転士 |
| | 大岩 | 定雄 | 主任運転士 |
| | 加瀬 | 武正 | 車両技術係 |
| | 益川 | 義行 | 運転士 |
| | 斎藤 | 隆男 | 運転士 |

よろしく!

NTTの課題・目的

- ①安全を切り捨て、組合潰しを優先するJR弾劾! 運転保安確立、事故当該者津田沼・千葉転両支部長に対する不当処分策動粉砕!
- ②JR総連革マルー当局一体となった土職の差別・選別登用を許すな! 全ての強支配転者を原職に戻せ!



全組合員が血を流し、涙を流し、そして勝利した10年!

そして、全てが「労働者のミス・タルミ」の一言でかたづけられてしまうのだ。まさにJR

接触限界を

越えながら 一年半も放置

十一月十日に常磐線勿来駅で発生した「列車接触事故」も、昨年六月には、隣接する線路との間隔が、規定された接触限界基準よりも狭かったことが計測されていたというのである！しかしそれが、一年半も放置されていたというのだ。まさに「異常事態」としか言いようがない。JRという会社のなかには、「安全確保」などという考え方のものが、そのかけらすらなくなってしまうているのではないか!? まさにそうとしか考えられない事故である。

われわれは、このような事態をこのまま放置するわけにはいかない。「反合・運転保安確立」は、われわれの基本路線であり、そして生きる権利である。事態は深刻である。闘いなくして安全なし!われわれは、運転保安確立を求め、断固としてストライキに起つ!

では、無限に危険に向けて突き進む悪循環が行われているのである。



経堂駅は黒字に浮かれ、従業員は誇りを失ったかJRの事故

アエラ
11/7

アメリカの某企業では、社屋のそこそこ「THINK」と大書してあるそうだ。従業員諸君、新しい製品を考えよう! 仕事の効率的な手順を考えよう! 考えよ、考え抜け。それが会社のためになり、君のためになる、というわけである。

JRに看板を塗り替える前の国鉄は、これとは反対だった。つまり「勝手に考えるな」との教育が施されてきた。

社会 ミス続発は転落の第一歩か

論議 栗田 巨

列車の前方の信号が赤だったとする。しかし、直線線路の遠くまで、先行列車のカゲもカタチもない。ならば進行していいだろう—では困る。信号が赤であれば、赤であるだけの理由がある。信号に従って行動せよ。そう教え込んできた。

●安全は愚直な規則順守
運転士も車掌も、職員の一ひとりが愚直に規則、規定を守ることによって、はじめて安全運行が可能になる。それが旧国

内の常磐線、最終列車が通過したと思込んで補修工事のためレールをはずしたところへ「最終の」貨物列車が突っ込み脱線、転覆した。

二十四日付の朝日(東京)の夕刊は、一面に事故の大きな写真を載せ、すくなくJR七社の八八年度の収益が伸びたというニュースを配した皮肉な紙面になっている。

同じ日の午後三時前、同じ常磐線の千葉県松戸市内で、係員が切り替えポイントの操作を間違え、客が乗った電車が全く別の、武蔵野線の線路に入ってしまった。第二の事故だ。

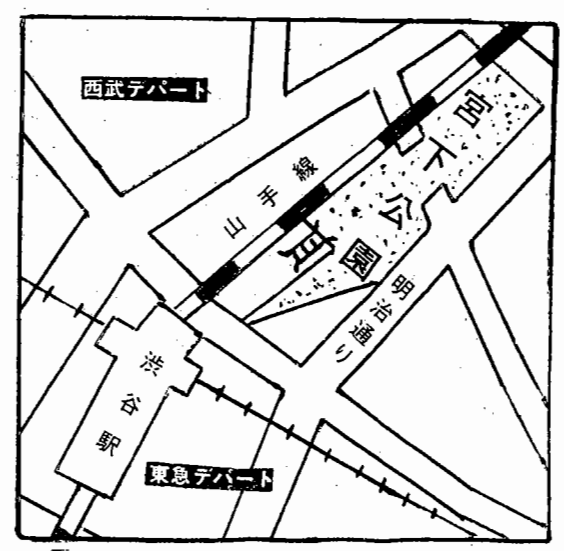
つきは三時すぎ。同じ千葉県の今度は船橋市内の総武線で、引き込み線にとまっていた電車の側面に、別の引き込み線から来た電車が衝突した。原因は、ぶつかった電車の運転士が「信号機」の先にある踏切を渡っている女性に気をとられ「赤信号を見落としたため」。

●うっかりは組織の問題
けが人が出なかったのは幸いだが、連続して三件もの「うっかりミス」が起るとは尋常ではない。個人の不注視というより、組織に何か問題点がある

反「連合」
反統一
労組懇!
11・23へ

11・23 宮下公園へ 労働者総決起集会

新「連合」に反対し
闘う労働運動の建設を



闘いの目標

- ① 反合理化・運転保安確立!
 - * 労働者への事故責任転嫁を許すな、自らの事故責任を開き直り危険に向けてつき進むJR弾劾!
 - * JRは、安全切り捨て・組合潰し優先の労務政策をやめろ!
- ② 安全確保に向けて、労働条件の抜本的改善をかちとるぞ!
- ③ 事故を利用した不当処分=組織破壊攻撃粉碎!
- ④ JR総連と一体となった、士職の差別・選別登用を許すな!
- ⑤ JRは、全ての強制配転者をただちに原職に戻せ!